CentreCOM®

LA-PCM-T V2

取扱説明書・Windows®98 編

アライドテレシス(株)

この度は、「CentreCOM LA-PCM-T V2」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を Windows98 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版のWindows98におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

0 目次

1 概要

1.1 特長

CentreCOM LA-PCM-T V2(以下、本製品と表記)は以下の特長をもつ PC カード型 LAN アダプターです。

- PCMCIA Release 2.1 および JEIDA Ver.4.2 規格に対応
- データ転送は I/O 方式を採用
- I/O アドレス、インタラプトの設定が可能
- 10M Ethernet(10BASE-T)に対応
- 動作状態を表示する 2 つの LED が付属(本体)
- メディアケーブルが付属(RJ-45 型 10BASE-T モジュラージャックを提供)

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCMCIA Type II PCカードスロットを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ(ただし、PC-9801NX/C、PC-9801NL/R、PC-9801NS/A、PC-9821Ne、PC-98 互換機を除く)

1.3 各部の名称と働き

図1.4.1をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

PN J613-M0430-00 Rev.A 980624

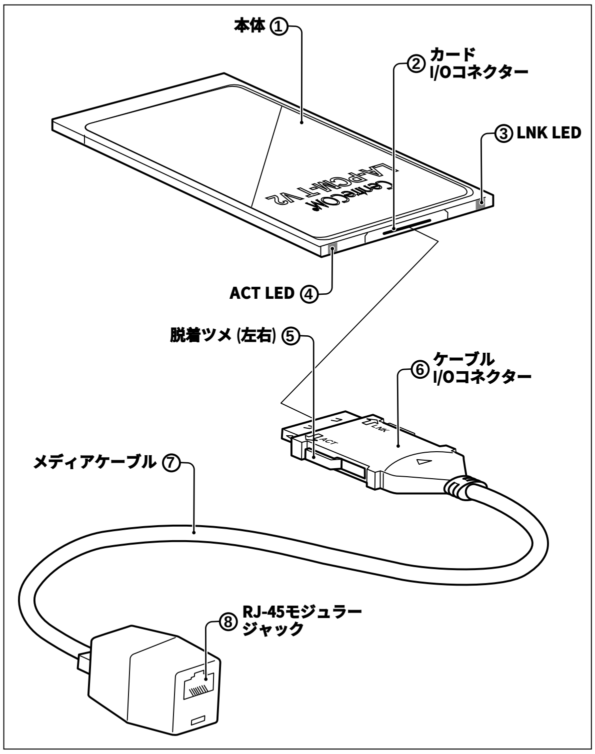


図 1.3.1

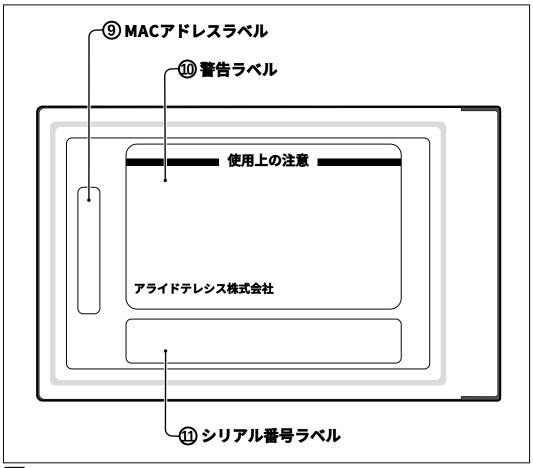


図 1.3.2

① **LA-PCM-T V2 本体**
コンピュータのPCカードスロットに挿入し、LANアダプターの機能を提供します。

② **カード I/O コネクター**
「⑦メディアケーブル」を接続します。

③ **LNK(LINK) LED**
対向機器と正常にリンクが確立されると緑色に点灯します。

④ **ACT(ACTIVITY) LED**
パケットの送受信が行われると燈色に点灯します。

⑤ **脱着ツメ**
メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。メディアケーブルの脱着は、必ずこのツメを持って行ってください。

⑥ **ケーブル I/O コネクター**
LA-PCM-T V2 本体に接続するコネクターです。

⑦ **メディアケーブル**
LA-PCM-T V2 を LAN に接続するためのケーブルです。

⑧ **RJ-45 モジュラージャック**
UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクターです。

⑨ **MAC アドレスラベル**
本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレスついては、付録A「MAC アドレス」をご覧ください。

⑩ **警告ラベル**
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記されています。必ずお読みください。

⑪ **シリアル番号ラベル**
本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚程同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください(残る1枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

1.4 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください(PC-98互換機には対応していません)。

- AT 互換機 /NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800/PC-9821 用

Windows98 用ドライバーは、「**\windows.98**」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「**README.***」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。

注意
\README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2 取付・配線

2.1 活線挿抜 1 ― PC カードの挿入

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータに電源を入れた状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

(1) 「LA-PCM-T V2」の文字が印刷された面を上にしてコンピュータのPCカードスロットに挿入し、本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。

警告
コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

(2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

(3) 「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると(「コントロールパネル」→「PC カード(PCMCIA)」)、「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」の名前が表示されます(図3.3.5をご覧ください)。

2.2 活線挿抜 2 ー PC カードの取り外し

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータに電源を入れた状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源が入っている状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。

警告
以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

(1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnetやデーターベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

(2) タスクバーの PC カードアイコン(デスクトップ右下)をクリックします。



図 2.2.1　PC カードアイコン

(3) 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 2.2.2

(4) 「OK」をクリックしてください。

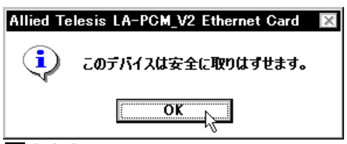


図 2.2.3

(5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

警告
メディアケーブルを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

2.3 メディアケーブルの取付け

次図のように、LNK・ACTの文字を上にし、コネクターの左右にある脱着ツメを押さえながら、LA-PCM-T V2本体のコネクターに「カチッ」と音がするまで挿しこんでください。挿し込んだらメディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

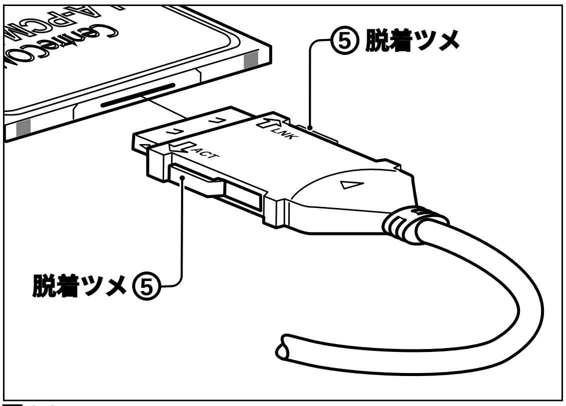


図 2.3.1

2.4 メディアケーブルの取り外し

メディアケーブルの脱着ツメを親指と人差し指で摘みながら引いてください。

警告
メディアケーブルに無理な力をかけて引き抜くことは、絶対におやめください。PC カード、メディアケーブル双方が破損する恐れがあります。

2.5 LAN への接続

感電
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

(1) UTPケーブルの一方の端に付いたプラグを、メディアケーブルのRJ-45モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

注意
UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、10BASE-T の場合はカテゴリー3以上のもので、ストレートタイプをご使用ください。

(2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

(3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)のモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。

※ UTP ケーブルの外し方
プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

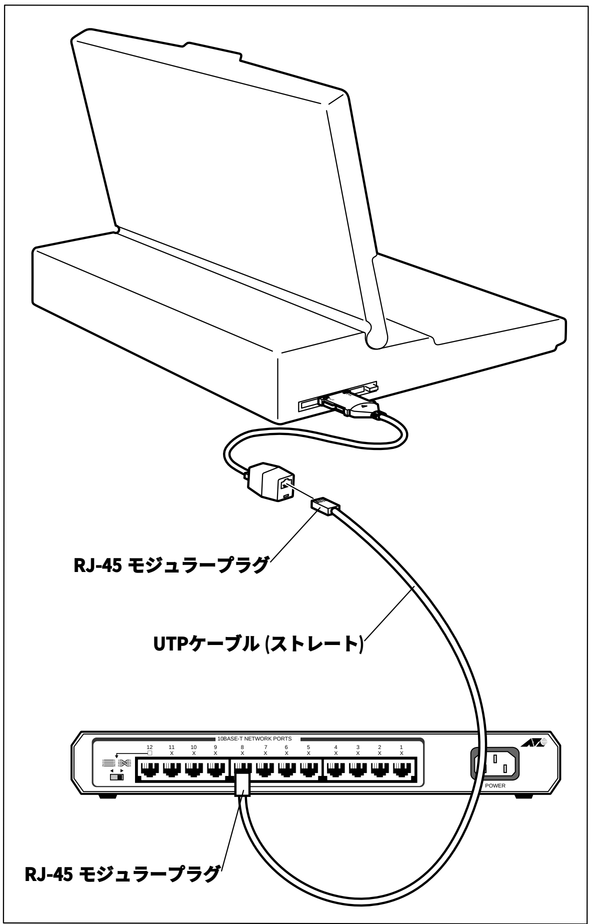


図 2.5.1

3 Windows98 へのインストール

注意 ここに挙る手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

本製品のドライバーを初めて Windows98 にインストールする場合、例えば次のような場合：

- Windows98 を新規インストールし、これから本製品のドライバーのインストールを始める。
- プリインストール版 Windows98 へのインストール。
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、Windows95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める。

は、「**3.2 ドライバーの新規インストール**」を実行し、その後「**3.4 ドライバーの更新**」を行います。新規インストール手順では Windows98 の CD-ROM からドライバーをインストールします。CD-ROMに含まれている本製品のドライバーは初期バージョンです。そのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をお薦めします。

Windows95 から Windows98 にアップグレードしたとき、既に **Windows95で本製品を使用していた**場合、Windows98へのアップグレードによって、Windows98のCD-ROMから本製品用のドライバーが自動的にインストールされています。Windows98 の CD-ROMに含まれている本製品のドライバーは初期バージョンです。そのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をお薦めします。また、弊社のホームページなどから最新のドライバードライバーを入手した場合も更新手順を実行します。更新の詳細は、「**3.4 ドライバーの更新**」をご覧ください。

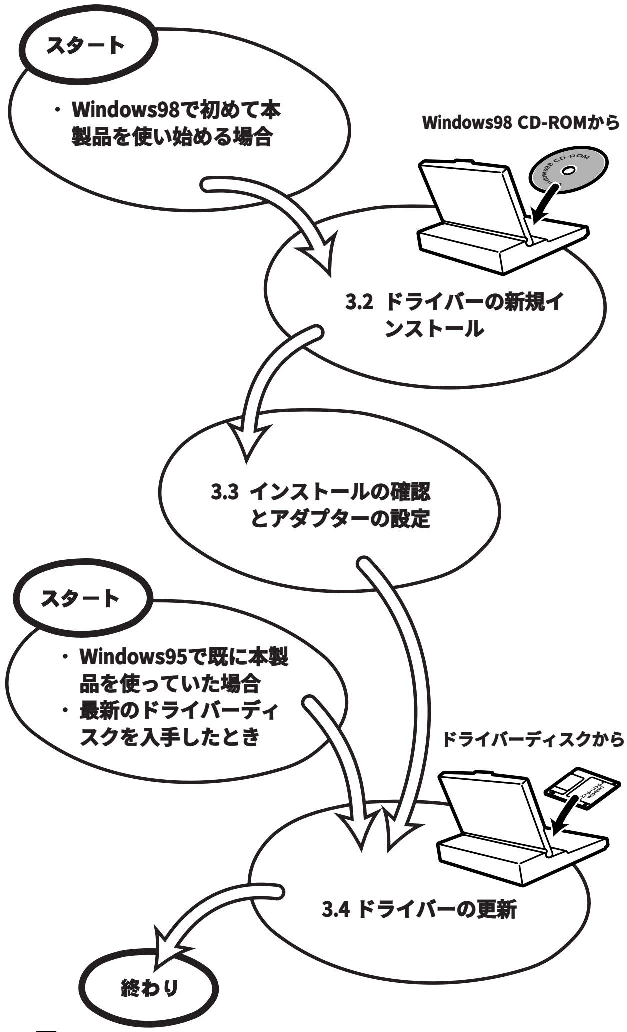


図 3.1

3.1 用意するもの

- LA-PCM-T V2 カード、メディアケーブルなど
- コンピュータ（Windows98 インストール済み）
- LA-PCM-T V2 ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows98 の CD-ROM

警告 Windows98 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します（ここでは、今までにネットワークアダプター用ドラ

イバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、Windows98のCD-ROMからインストールされます。

(1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けない状態で、コンピュータに電源をオンにし、Windows98を起動してください。

(2) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。

(3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。

(4) Windows98は本製品を自動的に検出し、Windows98は本製品のドライバーや、ネットワークを使用するために必要なWindows98のファイルをCD-ROMからハードディスクにコピーします。

本製品のドライバーは、Windows98 の CD-ROM からインストールされます。

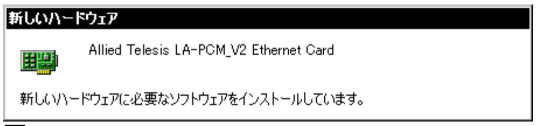


図 3.2.1

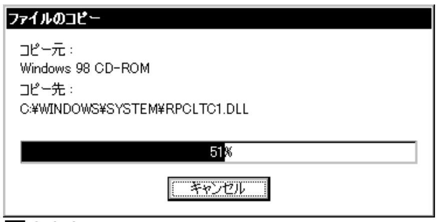


図 3.2.2

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROMがCD-ROMドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」をクリックしてください。



図 3.2.3

下記のダイアログが現れる場合、**AT互換機/PC98-NX**の場合はパスとして「**D:\win98**」、**PC-9800/PC-9821**の場合はパスとして「**Q:\win98n**」を入力し、「OK」をクリックしてください。ここでは、CD-ROMドライブ名をそれぞれ「D:」および「Q:」と仮定します。



図 3.2.4

(5) ドライバーのインストールが終了したら、Windows98を終了し、コンピュータを再起動してください。

(6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「**3.3 インストールの確認とアダプターの設定**」にお進みください。

3.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 3.3.1

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「PCMCIAソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されます。



図 3.3.2

PCMCIA コントローラの名称は、ご使用のコンピュータ機種により異なります。上記のダイアログは一例です。また、ご使用のコンピュータがCardBus対応モデルであり、かつPCMCIAコントローラが16bit/32bit共用のタイプである場合、PCMCIAコントローラは同じ名称が2列以上表示されます。

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」→「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.3.3　デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 3.3.4　リソースの確認

2. PCカード（PCMCIA）による確認

「PCカード（PCMCIA）」（コントロールパネル）をダブルクリックします。「ソケットの状態」を表示すると該当するソケットに「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。



図 3.3.5　ソケットの状態

3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施した設定が有効になります。設定についての詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 3.3.6　ネットワークの設定

3.4 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときや、Windows95からWindows98へアップグレードした場合に実行します。

注意　作業の最初からWindows98のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れて置かないでください。Windows98のCD-ROMは、以下の手順で指示された時点で挿入してください。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどり、「ネットワークアダプタ」下の「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください（図 3.3.2）。

(2) 下記のダイアログで「ドライバー」タグをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリックしてください。

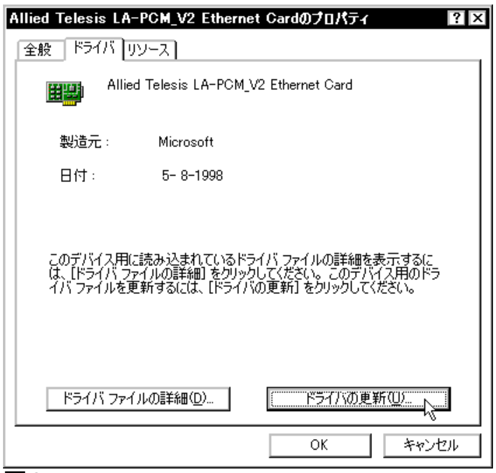


図 3.4.1

(3) 「次へ」ボタンをクリックしてください。

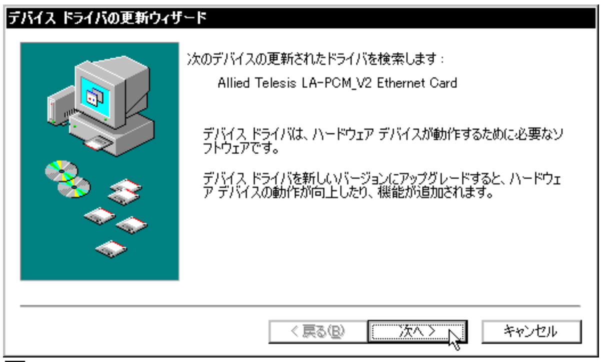


図 3.4.2

(4) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

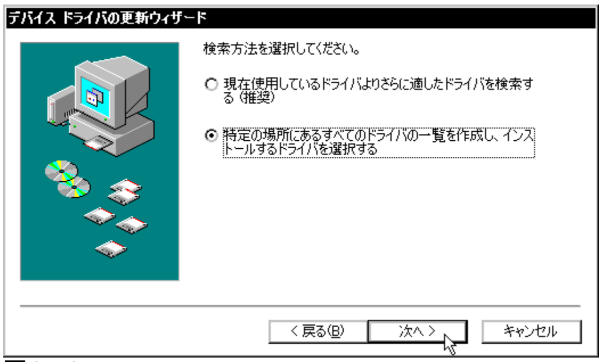


図 3.4.3

(5) 「すべてのデバイスを表示」ラジオボタンをクリックし、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.4

(6) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

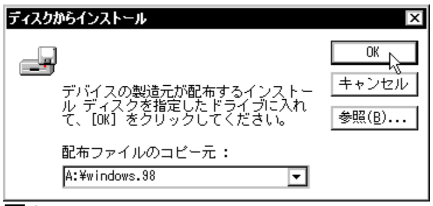


図 3.4.5

(7) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図3.4.4に戻りますが、図3.4.4が自動的に閉じるまでそのままましばらくお待ちください(1〜2分)。



図 3.4.6

(8) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS.98\NETATK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

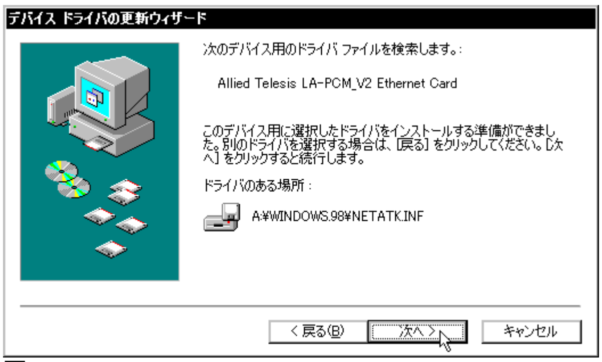


図 3.4.7

(9) Windows98のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

> **注意** CD-ROMは、この時点でCD-ROMドライブに挿入してください。あらかじめ挿入して置かないでください。



図 3.4.8

(10) 次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「**A:\windows.98**」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「**lapcmv2.sys**」はWindows98のCD-ROMにも含まれていますが、ドライバーディスクからコピーする必要があります。

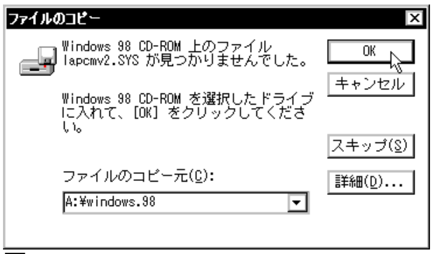


図 3.4.9

(11) 本製品のドライバー以外のファイルがCD-ROMからコピーされます。

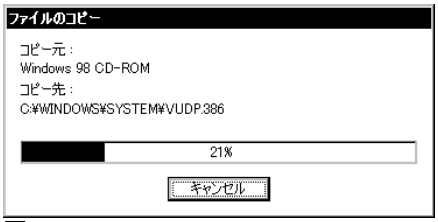


図 3.4.10

(12) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。Windows98のCD-ROMから本製品のドライバーインストールしたことによって表示されるバージョン番号は、ドライバーディスクのものより大きな数値をもっていますが、ドライバーディスクに含まれているものの方が新しいドライバーです。

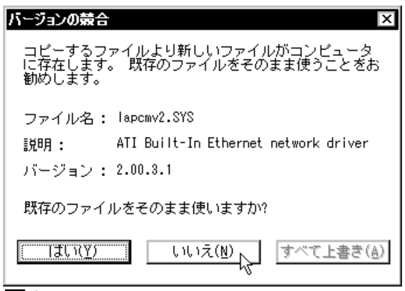


図 3.4.11

(13)「完了」をクリックしてください。



図 3.4.12

(14)「はい」をクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して起動します。

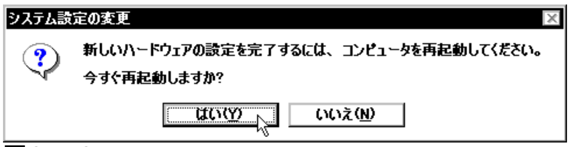


図 3.4.13

3.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 3.5.1　ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 3.5.2　デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

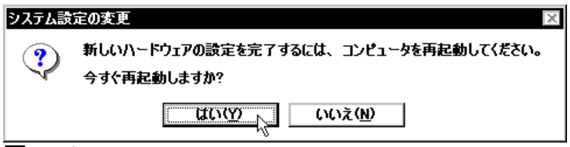


図 4.5.3

(3) 「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



図 3.5.4　削除後のデバイスマネージャ

(4) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。

(5) Windows98を「終了」してください。次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

3.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「3.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2) 「3.3 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4 ドライバーのトラブル

ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

注意　以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

4.1 本製品を認識しない

「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

1 正常にインストールできない

2 PCカードが検出されない

3「ネットワークアダプタ」の項目がない

4「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってしまった

5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く

6「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が2つ以上ある

「3」や「4」のような障害は、ドライバーインストール中に行われるnetapi.dllなどのWindows98関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

(1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

(2) 「3.6 ドライバーの削除」の手順(2)に進みます。

4.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「**使用不可**」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図3.3.1～3)。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

4.3 PCMCIAコントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIAコントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。

警告　ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIAコントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされていたか記録した後に、以下の手順を実行してください(システムレポートを出力しておくのは良い方法です。手順は「C.2」をご覧ください)。

警告

ご使用のコンピュータがCardBus対応の機種である場合、使用するPC カードに応じて 2 種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示されるPCMCIAコントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。

(2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。

(3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

(4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。

(5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。

(6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。

(7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動します。「次へ>」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)

(8) 「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。

(9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

4.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

(1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「コンピュータ」→「コンピュータのプロパティ」パネル→「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4.5 その他

インストール時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になっている場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

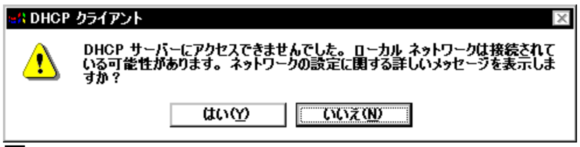


図 4.5.1

5 ネットワークのトラブル

「**通信できない**」とか「**故障かな？**」と思われる前に、以下のことを確認してください。

5.1 LINK LED は点灯していますか？

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源が入っているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「**MDI-X**」や「**to pc**」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルが不良ではありませんか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくいため、他のケーブルに交換して試験してみてください。

- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「**ストレートタイプのケーブル**」を使用しなければなりません。

5.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長**100m**と規定されています。

- 正しい UTP ケーブルを使用していますか？ 10BASE-T は、「**カテゴリー 3**」以上のものが使用できます。

- UTP ケーブルが不良ではありませんか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくいため、他のケーブルに交換して試験してみてください。

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様
   カード規格：
      PCMCIA Release 2.1/JEIDA Ver. 4.2
   信号：
      IEEE802.3 10BASE-T、Ethernet Version 2.0

2. 機械的仕様
   外形：
      カード：85.6 × 54.0 × 5.0 mm（Type II PC Card）
      メディアケーブル：300 mm
   重量：
      カード：40 g（PC カード＋メディアケーブル）

3. 電気的仕様
   動作電圧：DC ＋ 5V ± 5%
   消費電流：55 mA (max)

4. 環境条件
   周囲温度：0 ～ 55 ℃[注1]
   湿度：95%以下（ただし、結露なきこと）

注 1　本製品（PC カード）の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではありません。

5. 電気雑音の発生防止
   雑音端子電圧：VCCI クラス B
   雑音電界強度：VCCI クラス B

6. ネットワーク機能
   転送速度：10M bps
   I/O アドレス：
      260, 280, 2a0, 2c0, 2e0,
      300, 320, 340, 360, 380, 3a0, 3c0, 3e0
   インタラプト：
      3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C),15(F)

A.2 10BASE-T インターフェース

本製品に付属のメディアケーブルは、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックを使用しています。図A.2.1に、10BASE-T モジュラージャックの信号線を図示します。

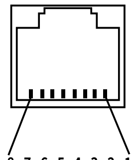


図 A.2.1　RJ-45 モジュラージャック

(1) TX+	送信データ(+)
(2) TX-	送信データ(-)
(3) RX+	受信データ(+)
(4) ---	未使用
(5) ---	未使用
(6) RX-	受信データ(-)
(7) ---	未使用
(8) ---	未使用

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス[注2]と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器（アダプター）のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の（unique、ユニークな）アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト（48ビット）によって構成されており、本アダプターの 内部 に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00	00	F4	4x	xx	xx
ベンダー ID			通し番号		

注 2　MAC アドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別べつのものです。

- ベンダー ID
  LAN ベンダー（LAN 用機器を製造しているメーカー）が IEEE に申請することにより得られる識別番号。

- 通し番号
  この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、LA-PCM-T V2 は、42 ～ 49 で始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品裏面の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

B 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社
サポートセンター

Fax: **0120-860-662** 年中無休 24 時間受付

Tel: **0120-860-772** 月～金（祝・祭日を除く）10:00-12:00、13:00-17:00

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン
   本製品裏面に貼られたラベルに記入されているシリアル番号(S/N)、製品レビジョンコード(Rev.) を調査依頼書に記入してください。
   (例) S/N 000770000002346 Rev AA
2. ご使用の当社のソフトウェア
   当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン(Ver.)、シリアル番号(S/N)を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
3. ご使用のコンピュータの機種
   ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
4. ご使用の周辺機器
   CD-ROMドライブ、サウンドボード、SCSIボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など
   接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)

■お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ご使用のOSがWindows98、Windows95、Windows NTの場合、お手数ですが可能な限りシステムレポートをを出力し、添付下さるようお願いいたします。レポートの出力方法は、「C.2 システムレポートの出力方法」をご覧ください。

■接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows98/95/NTが自動生成するシステムに関するレポート(名称はOSによって異なります)で、以下の手順で印刷することができます。

■ Windows98 または Windows95 の場合

(1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
(2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
(3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

■ Windows NT Ver.3.51 の場合

(1) 「プログラムマネージャ」→「管理ツール」と進み、「Windows NT 診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
(2) 「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)...」コマンドを選択します。
(3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

■ **Windows NT Ver.4.0 の場合**

(1) 「スタート」→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「Windows NT診断プログラム」と進み、「Windows NT診断プログラム」を起動します。
(2) 「印刷(N)...」ボタンををクリックします。
(3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

■ **システムレポートの出力例（Windows98/95 の場合）**

```
ｼｽﾃﾑ ﾘｿｰｽ ﾚﾎﾟｰﾄ  - ﾍﾟｰｼﾞ : 1

****************** ｼｽﾃﾑの概要 ******************

Windows ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ : 4.00.950
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名 : 不明
CPU の種類 : Pentium
ｼｽﾃﾑ ﾊﾞｽの種類 : ISA
BIOS 名 : Phoenix
BIOS の日付 : 01/08/97
BIOS のﾊﾞｰｼﾞｮﾝ : Phoenix NoteBIOS Version 4.05
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの種類 : IBM PC/AT
数値ｺﾌﾟﾛｾｯｻ : Not Present
登録ｵｰﾅｰ : XXXXXX
登録会社 : XXXXXX

****************** IRQの概要 ******************

IRQ の使用 :
  00 - ｼｽﾃﾑﾀｲﾏｰ
  01 - 106 日本語 (A01) ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ (Ctrl+英数)
  02 - ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ可能な割り込みｺﾝﾄﾛｰﾗ
  03 - 通信ﾎﾟｰﾄ (COM2)
  04 - 通信ﾎﾟｰﾄ (COM1)
  05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive
  06 - ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ﾌﾛｯﾋﾟｰ ﾃﾞｨｽｸ ｺﾝﾄﾛｰﾗ
  07 - ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾎﾟｰﾄ (LPT1)
  08 - ｼｽﾃﾑ CMOS/ﾘｱﾙ ﾀｲﾑ ｸﾛｯｸ
  10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller
  10 - PCI ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ用 IRQ ﾎﾙﾀﾞｰ
        ｸﾞ用 IRQ ﾎﾙﾀﾞｰ
```

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

■ **ホームページからの入手**

(1) Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「**http://www.allied-telesis.co.jp**」にアクセスします。
(2) 「**DOWNLOAD**」をクリックしてください。
(3) 以後、画面の指示にしたがってください。

■ **フロッピーディスクでの入手**

当社のカスタマー・マーケティング（Tel. **0120-860-442**、9:00～17:30／月～金）までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

● ● ● ●

ご注意

(1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
(2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
(3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
(4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1998 年 06 月 24 日　　Rev.A　　初版

調査依頼書（CentreCOM LA-PCM-T V2 1/2）　　年　　月　　日

一般事項

1. 御社名：
部署名：　　　　ご担当者：
ご連絡先住所：　〒
TEL:　（　　）　　FAX:　（　　）

2. 購入先：　　　　購入年月日：
購入先担当者：　　　　連絡先（TEL）：　（　　）

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用カードのシリアル番号、製品リビジョン

LA-PCM-T V2　　S/N________________ Rev___

2. ご使用の当社のソフトウェア

- □ LA-PCM-T V2 ドライバー　Ver.　pl.
- □ CentreNET PC/TCP　Ver.　pl.　S/N
- □ CentreNET AT-TCP/32　Ver.　pl.　S/N
- □その他（　　　　）　Ver.　pl.　S/N
- □その他（　　　　）　Ver.　pl.　S/N

3. ご使用のコンピュータについて

メーカ名：____________　機種名：____________
OS: ____________　バージョン：____________
サービスパック（NT）：____________

4. ご使用の周辺機器について

- □ CD-ROM ドライブ：____________
- □サウンドボード：____________
- □ SCSI ボード：____________
- □その他：____________

5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

____
____

7. トラブルの発生時期

- □セットアップ中に起こっている障害
- □セットアップ後、運用中に起こっている障害

8. システムレポート

- □添付あり
- □添付なし

調査依頼書（CentreCOM LA-PCM-T V2 2/2）

年　　月　　日

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。

分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。

稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。

取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。

取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所
  (結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所
  (静電気障害の原因にもなります)
- 腐食性ガスの発生する場所
- スピーカ付近などの強磁界

動作温度と湿度

本製品は温度 0 ～ 55℃、湿度最大 95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。

異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータのPCカードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。

日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。

お子様の手の届かないところに保管してください

高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高熱を発するようになります。ご使用直後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。

運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままでコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。

濡れたカードは使用しない

カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。